

研究課題番号	4-2102
研究課題名	世界自然遺産・知床をはじめとするオホーツク海南部海域の海氷・海洋変動予測と海洋生態系への気候変動リスク評価
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	北海道大学
研究代表者名	三寺 史夫

## 1. 委員の指摘及び提言概要

海域レベルで解像度の高い情報を収集整備し、変動や生態系影響が生じるメカニズムを解明し、将来予測を行う総合的研究として、学術的価値が高い。また、ユネスコ世界遺産委員会から、気候変動への適応戦略策定を勧告されている中で、本研究の成果は、環境行政に大きく貢献することが期待される。一方、以下の点に留意し、研究を進めていただきたい：アムール（川）およびその河口域からの海氷と塩類供給や鉄輸送の影響、アムール上流域での人為的活動や林野火災、植林活動などの影響評価、長期気候変動に対応する漁獲量データの取得と解析、気候変動と海洋環境に関する先行研究結果との比較・考察から本研究の特徴を導き出す、などである。

## 2. 採点結果

評価ランク：A